

国見公民館だより

福井市鮎川町 133-1-3 TEL/FAX 88-2004 E-mail: kunimi-k@mx1.fctv.ne.jp

令和 5 年 3 月 25 日発行 令和 4 年度第 12 号

◆ 機材倉庫看板設置終了

国見地区自治会連合会が所有する 3 棟の機材倉庫については順次改修していたところですが、仕上げの看板を設置して全ての工事が完了しました。地区体育大会や地区文化祭等で使用する机や椅子等の機材が収納されています。今回の改修工事を機会に、各倉庫に名前(第 1～第 3)を付けることになりました。これらの事業で、令和元年の国見公民館新築時の建設寄附金特別会計は残額が 5 万円未満になり、ほぼ使い切ったこととなりました。ご寄付頂いた地元の皆様、ありがとうございました。

年 月	経費	事業者等
令和 4 年 5 月	¥308,000	(株)鈴木瓦工業
1 1 月	¥1,270,000	国見建築組合
令和 5 年 2 月	¥29,700	(株)マルキヤ宣広社
3 月	¥49,568	残額
合 計	¥1,657,268	



①第 1 倉庫(旧公民館(現クラゲ公民館)北側)：瓦葺き替え

②第 2 倉庫(中学校グラウンドのバックネット裏)：屋根ポリカ波板と雨樋交換

③第 3 倉庫(中学校体育館南隣)：外壁張替とアルミ引戸 3 枚設置



◆ 地区サイレンの修復

鮎川町と白浜町の間にあるトンネルの上には、昭和の時代に設置された緊急用のサイレンがあるが、数か月前から故障していて、津波や火事等の際の緊急避難を呼びかける機能が停止していました。市役所の危機管理課等へ設備の修繕を要望していたが、他地区での設置事例が少なく、直ちに修繕復帰することは困難との回答でした。地区自治会連合会で協議し、市役所からの経費補助が無くても「住民にとって必要不可欠の設備」であることから、連合会独自財源を使ってでも修繕することと判断しました。2月下旬に、設備機器を専門家に見てもらったところ、電源装置の故障が判明したので、その部分を修繕しました。

このサイレンは緊急避難の呼びかけ以外にも、時報の機能もあることから、市役所としては危機対策専門の設備でないとの判断であるとのことですが、火事や津波発生時の緊急通報の際には分遣所の職員がサイレンのスイッチを操作することを市役所の危機管理課は了解しています。

時報については、回数を午前 6 時、正午、午後 5 時の 3 回に絞って実施しています。

◆ 清掃奉仕作業や美化活動に関する意見募集

国見地区自治会連合会では、福井市が実施している「地域ごみ減量化・清掃美化協力金」という事業で、令和 4 年度は約 16 万円の補助金を受け取り、地区ごみカレンダーの作成や、夏季のごみ特別収集委託料等に活用しています。また、ごみステーションの補修が必要な場合にもこの補助金を活用できます。

一方で、棗、鷹巣、国見、越廼の 4 地区で構成している「福井の海を守る会」でも市役所の補助金を受けていて、年間約 15 万円が国見地区へ配分されています。この補助金では清掃奉仕活動で使用するごみ袋や軍手を購入しています。

3 月 6 日(月)に開催された地区自治会連合会の区長会で、このふたつの補助金をもっと有効に活用できないかという議論になりました。前者の事業費は美化活動にも充当できる規定なので、例えば町内の花壇の花苗の購入費も認められるものですので、何か良いアイデアをお持ちの方がいれば、各位自治会長へご相談ください。

◆すこやか学級「健康教室」「閉講式」

3月7日(火)にすこやか学級「健康教室」と「令和4年度閉講式」を開催しました。地区のお年寄り約30名が国見公民館大ホールに集まり、まず「健康教室」が行われ、ほやねっと川西の看護師 小坂佳代子さんから、川西包括支援センターの事業紹介があり、その後“株式会社 シンカイ”理学療法士の後藤拓也さんを講師に、タオルを使った手軽な体操をみんなで行いました。「運動は毎日続けることがとても大切」とっており、日常で使える健康増進のための運動方法、知識を教えてくださいました。

「健康教室」後には令和4年度すこやか学級「閉講式」が行われ、公民館の松井館長から今年1年の締め挨拶があり、今年度のすこやか学級が無事終了しました。

国見地区の老人会(寿クラブ、愛友クラブ)は共に新規会員を募集しています。興味がある方は公民館までご連絡ください。



◆国見地区体育振興会 総会

——地区合同体育祭実施の方針——

3月11日(土)夜、国見地区体育振興会の本年度の通常総会が開催され、役員22名が参加し(その他に委任状14名)、新年度の事業計画案等を審議しました。本年度は、コロナ感染症が一応の落ち着きを見せていることから、地区合同体育祭を5月21日(日)に規模を縮小し午前中に終了するプログラムで開催することが決定しました。また11月19日(日)に地区球技大会を開催することや、市民スポーツ大会への参加等も決定しました。

予算は福井市体育協会からの助成金¥100,000円、地区自治会連合会からの会費収入¥350,000円等の財源での活動が承認されました。

役員改選も行われ、石丸会長や山本理事長の続投が決まり、各町内から推薦された新しい理事や実行委員も決定しました。ただし、不在が続いている副理事長の定数を減らす意見が出され、次回の総会で規約を改正することになりました。また、理事や実行委員の町内ごとの定数の見直しについての意見も出されました。役員の皆様、ご苦労様ですが、地区の盛り上がりの為にもよろしくお願ひします。

◆国見地区青少年育成会 通常総会

3月12日(日)夜、「国見地区青少年育成会」の本年度の通常総会が開催され、関係者16名が参加しました。国見地区内で組織されている「青少年育成福井市民会議国見支部」という団体との統合については、昨年秋頃から両団体の執行部どうしで協議されていた原案が説明され、コロナ禍前まで、毎年実施していた両団体の全ての活動をそのまま統一団体として実行していくことを条件に統合が可決されました。新会長に元国見地区青少年育成会長であった山本一彦さん、事務局長に元青少年育成福井市民会議国見支部長であった松井公民館長が選出されました。

コロナ禍の影響で夏季海浜特別補導事業や各町内の子供会支援事業はここ3年間ほとんど活動できない状況であったが、令和5年度はほぼ全部の事業を実施していく事業計画も決定しました。主な年間事業は次のとおり。

①青少年環境一斉点検(7月)、②夏季海浜特別補導事業(7～8月)、③各町内子供会への支援事業(夏休み期間中)、④青少年育成推進研修会(10～2月)、その他青少年育成関係の公民館事業への参加

❖ 不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会 国見支部 令和4年度事業及び決算報告

郷土を愛する運動を進め実践するため「不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会」は実践目標を達成するための活動を行っています。

同協議会国見支部は令和4年度に各部門で次のような事業を行いました。

普及啓発部門：市民憲章推進、花壇コンクール表彰

親切奉仕部門：はたちのつどい

健康増進部門：すこやか学級(健康教室)

郷土美化部門：花壇活動、花壇コンクール参加、親子で花いっぱい

安全安心部門：防災研修会、すこやか学級(防犯、防災)

文化教養部門：源平交流会、ふるさと宝探し(小学生)、ふるさと探訪(中学生)

令和4年度会計

収入 ①「前年度繰越金」¥2,289 ②「本部交付金」¥23,000 ③「自治会協力金」¥20,000

①+②+③=¥45,289

支出 (1)「普及啓発部門」¥9,676 (2)親切奉仕部門」¥5,676 (3)「健康増進部門」¥2,160 (4)「郷土美化部門」¥7,000 (5)「安全安心部門」¥13,200 (6)「文化教養部門」¥6,200 (7)「次年度繰越金」¥1,377

(1)+(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)=¥45,289

❖ 青少年育成福井市民会議国見支部 令和4年度事業及び決算報告

青少年育成福井市民会議国見支部の令和4年度に実施したの事業は次のとおりで、決算は表のとおりです。

① 青少年環境危険箇所一斉点検

7月3日(日) 参加者：30名

21箇所：改善要望

② 支部長会議 2回

6月28日(火)、2月10日(金)

松井 支部長出席

③ 川西ブロック研修会

3月26日(日) 棗公民館 棗支部の活動報告 杉田主事 参加

この団体は、国見地区の青少年が健全に成長し、立派な大人になるような事業を行っているものですが、「国見地区青少年育成会」も良く似た活動を行っているので、令和5年度からは、2つの団体を合併して、従来通りの事業を行っていくことになっています。

収入項目	金額	支出項目	金額
前年度繰越金	¥3,630	支部活動費	¥45,638
本部補助金	¥52,350	見守り活動費	¥32,650
自治会協力金	¥25,000	次年度繰越金	¥2,692
合計	¥80,980	合計	¥80,980

❖ 夢を語ろう会(中学校:卒業生)

3月2日(木)午前、今月国見中学校を卒業した4名の3年生を対象に公民館事業として「夢を語ろう会」を開催し、国見での生活の記念になるようにオリジナルの皿(ポーセラーツ)を制作しました。その後、いきいき国見の行事で、卒業記念となる桜の苗木を校庭に植樹しました。4名の3年生は「保育士を目指して進学する」「デザイナーになるために勉強を頑張る」「語学を学習し国際的な仕事ができるようになりたい」「絵を描くことが好きなので自然豊かな国見の魅力を発信できる仕事に就きたい」等の夢を語ってくれました。中学3年生にして具体的な目標を持っていることに感心しました。立派な志を語ってくれた4名に夢の多い素晴らしい人生が待っていることをお祈りしています。



❖ 実年会「歴史講演会」

2月26日(日)夜、国見公民館大ホールにて、実年会主催の歴史講演会が開催され「龍馬と福井と海援隊」の演題で龍馬研究会の牧田活宣さんが講演し、実年会の会員を中心に36名の皆さんが聴講しました。坂本龍馬と松平春嶽公の親交や幕末の越前藩出身者と海援隊との関わり等の解説もあり、参加者は興味深く聞き入っていました。



❖ 実年会総会・新規会員募集中

歴史講演会の後、実年会の総会が開催され、令和4年度の事業報告や会計報告の後、令和5年度の事業計画が審議され、例年どおり「歩こう会」「宿泊研修」「時局講演会」等を実施することが決定しました。

実年会は「国見地区に居住する満5.5歳から満7.5歳までの男女を以て組織する(同会会則から)」ことになっており、年会費は¥2,000円です。「お誘いがないので入会していない」という声もあるようですが、みんなで一緒に健康維持や新たな学習をなごやかにやっている会なので、是非ご加入ください。興味のある方は公民館までご連絡ください。

❖ ふるさと未来講座・「経済・産業」福井

3月14日(火)午後、福井ライフアカデミーが主催するふるさと未来講座が福井県生活学習館(ユニーアイふくい)で開催され、約150名が聴講し、国見地区からは松井館長が参加した。日本テレビ系ドラマ「ファーストペンギン」のモデルになった福井市出身の坪内知佳さんが講演し、漁獲量減少や燃料高騰で衰退していた山口県萩市大島のまき網漁船団での漁業者の自家出荷(直販)や六次産業化による地方創世の取組体験談を披露した。ドラマでは表現されなかった経験談もあり、一次産業が衰退する「田舎」での経営改革に必要なヒントになると思われた。



❖ ブルーシー鮎川看板修繕

鮎川町の福井臨海消防署国見分遣所前の国道沿い(海側)のコンクリートに埋め込んである「ブルーシー鮎川」の看板は、「福井の海を守る会」の事業で平成29年に設置されたものです。ところが長年の風雨により色褪せていたので、同会の令和4年度予算を活用して、お色直しの修繕工事が実施できるよう事務局に要望したところ、この度工事が完了し、色鮮やかな看板に復帰しました。



今後開催予定のイベント等

4月 3日(月)・・・午後7時～定例区長会

4月20日(木)・・・福井の海を守る会三役会

4月14日(金)・・・午後7時～地区自主防災組織連絡協議会幹事会

4月30日(日)・・・午後7時～公民館運営審議会(公民館協力委員との合同会議)